

# 平成 17 年 度

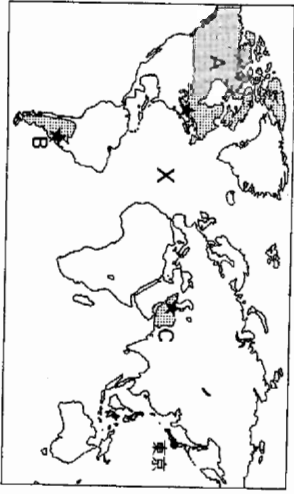
## □ V □ 社 会

(14 時 20 分 ~ 15 時 10 分)

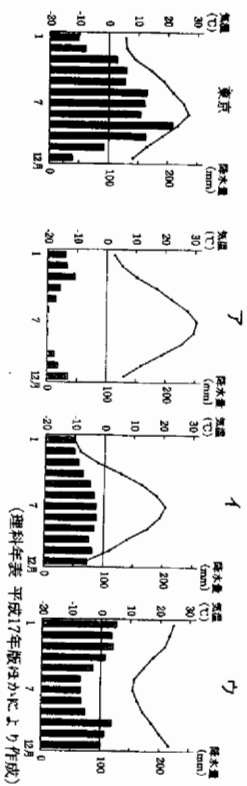
### 注 意

- 問題用紙は 3 枚 (3 ページ) あります。
- 解答用紙はこの用紙の裏面です。
- 答えはすべて、解答用紙の所定の欄に、文、文字などで答えるもののほかは、ア、イ、……などの符号で記入しなさい。
- 解答用紙の※印の欄には記入してはいけません。

1 右の地図を見て、(1)～(4)の問いに答えなさい。地図の★は、それぞれA～C国の首都を表す。



- 地図のXで示した海洋の名称を漢字で書きなさい。
- 下のグラフは、東京とA～C国の首都の気温と降水量を表している。A～C国の中には、首都が東京と同じ気候帯に属する国が一つある。その国をA～Cの中から選びなさい。また、その国の首都の気温と降水量を表すグラフをア～ウの中から一つ選びなさい。



(3) 下の表は、A～C国に関する統計の一部である。表を見て、①～③の問いに答えなさい。

項目(単位)	A国	B国	C国
面積(万km <sup>2</sup> )	997	278	165
人口(万人)	3151	3843	6892
東京から首都★までの距離(km)	a	b	c
原油生産量(万t)	10550	4009	18349
原油輸出量(万t)	1762	1335	11890
原油生産量に占める原油輸出量の割合(%)	17	33	65

※原油輸出量は、実際の輸出量から輸入量を差し引いた実質的な輸出量である。(世界貿易機関 2004/05年版、理科年表 平成17年版からより作成)

- A～C国の中で、人口密度が最も高い国はどれか。符号と国名を書きなさい。また、その国の人口密度を計算し、小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。
- a～cには、それぞれのア～ウのいずれかがあてはまる。中心(東京)からの距離と方位が正しい世界地図を手がかりにして、aにあてはまるものを選びなさい。  
ア 7683    イ 10342    ウ 18365
- A国は、B国よりも原油の生産量が多いが、輸出量の割合は低い。A国の輸出量の割合が低いのはなぜか。「一人あたりの」という書き出しで説明しなさい。



- (4) A国は、同じ大陸内の国々と共通市場をめざす協定を1992年に締結した。その協定の略称を、次のア～オの中から一つ選びなさい。
- ア EU    イ NATO    ウ NAFTA    エ UNICEF    オ WHO

2 日本と諸外国とのかわりについてまとめた次の略年表を見て、(1)～(4)の問いに答えなさい。

世紀	おもなできごと
7	小野妹子が遣隋使となる
9	運膏使が廃止される
12	平清盛が宋と貿易を行う
13	元軍が2度におたり来襲する
14	足利義満がXから使節の取りしめりを求める
15	琉球王国が成立する
16	豊臣秀吉が朝鮮に出兵する
17	ポルトガル船の来航が禁止される
18	外国船が接近するようになる
19	幕府が北方の探検や測量を行う
	外国船打払令が出される

(3) 次のア～エは、外国から伝わった知識や技術などを用いてつくられたものをまとめたカードである。略年表のYの時期につくられたものはどれか。一つ選びなさい。

ア この東大寺の門は、中国から伝わった最新技術を用いて作られた。

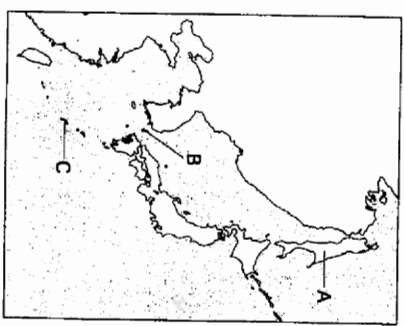
イ この末は、オランダ語の医学書を翻訳して出版された。

ウ この青銅製は、朝鮮半島から伝わった技術によりつくられた。

エ この絵の兵士たちが手に持っている武器は、ポルトガル人から伝わった。

(4) 略年表のZの時期について、次の文と地図を見て、①～③の問いに答えなさい。

対馬藩は朝鮮と貿易を行い、薩摩藩は事実上支配下においた琉球王国を通じて中国と貿易を行った。また、松前藩は、樺太を経由して中国の東北部などと交易していた。※ 民族との取り引きを独占した。



- ※ にあてはまる民族名を書きなさい。
- 文中の下線部は、それぞれ右の地図のA～Cのいずれかである。正しい組み合わせを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

	対馬	琉球	樺太
ア	B	C	A
イ	B	A	C
ウ	C	B	A
エ	A	C	B

③ 1792年にロソフの使節が根室に来て漂流民を送りとどけ、通商を求めた。このできごとの後、幕府は外国の接近に対してどのような対応をしたか。略年表を手がかりにして、鎖国と関連つけて書きなさい。

次の資料は、社会科の授業で、日本国憲法の基本的人権の尊重に関する学習課題について、各班が調べた内容をまとめたものである。(1)～(5)の問いに答えなさい。

班	学習課題	わかったこと
1班	わたしたちの自由を保障する権利には、どのようなものがあるのだろうか。	身体の自由や①精神の自由、経済活動の自由があるが、公共の福祉によって制限されることがある。
2班	障がいのある人や高齢者が社会生活の中で不便を感じたりするのを、どのように改善すればよいのだろうか。	②障がいのある人や高齢者の視点に立ち、まちづくりをしたり、教育を受ける機会や働く場所を確保しなければならぬ。
3班	生活に困っている人たちの生存権は、どのように保障されるのだろうか。	③生活保護などの社会保障制度によって、健康で文化的な最低限度の生活が保障される。
4班	④新しい人権は、どうして登場してきたのだろうか。	現代社会が高度に産業化、情報化したことで登場して行くようになったが、憲法に規定はない。
5班	人々の間で利益や考えが対立し、人権にかかわる争いがおきたら、どのように解決すればよいのだろうか。	争いの当事者間で話し合ったりして解決したり、⑤明確で客観的な法にしたがって解決することができるとのこと。

- (1) 次のア～エは、日本国憲法の条文である。下線部①にあたるものを、一つ選びなさい。
- ア 公務員を選定し、及びこれを罷免することは、国民固有の権利である。
  - イ 財産権は、これを侵してはならない。
  - ウ 何人も、法律の定める手続によらなければ、その生命若しくは自由を奪はれ、又はその他の刑罰を科せられない。
  - エ 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。
- (2) 下線部②とあるが、右のマークは、福島県が「人にやさしいまちづくり条例」にもとづいて、パリアフリーに配慮した施設に交付している「やさしさマーク」である。障がいのある人や高齢者をはじめ、すべての人が安心して利用できるようにするために、施設や設備をどのようにすることが必要か。具体的な例を二つ書きなさい。
- (3) 下線部③について、社会保障制度には、次のア～エの四つの柱がある。生活保護はその中のどれにあたるか。一つ選びなさい。
- ア 公的扶助    イ 社会保障    ウ 社会福祉    エ 公衆衛生
- (4) 下線部④について、次のa, bの問いに答えなさい。
- a この権利の内容にあてはまるものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。
- ア すべての子どもがひとしく教育を受ける権利
  - イ 賃金その他の労働条件の改善を要求して、団体で交渉する権利
  - ウ 日当たり、静かさ、見晴らしのよさなど、良好で住みやすい環境を求める権利
  - エ 無罪の判決を受けた人が国に刑事補償を求める権利
- b 近年、個人が自分の生き方や生活のしかたについて自由に決定する権利が重視されるようになった。病院などにおいて、患者が治療方法などについて、医師から十分に説明を受け、情報を与えられたうえで同意することを何というか。書きなさい。
- (5) 下線部⑤について、社会生活における私人の間の争いは、当事者間での解決がむずかしい場合は民事裁判で解決できるが、日本では民事裁判を利用する人があまり多くない。そのおもな理由を一つ書きなさい。

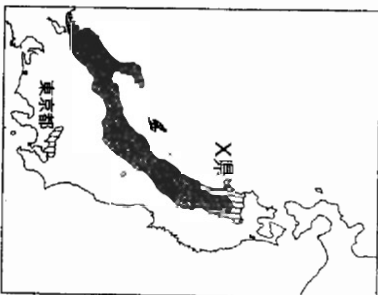


右の地図を見て、(1)～(4)の問いに答えなさい。

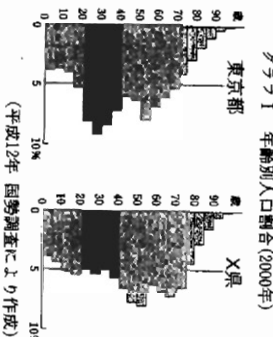
- (1) ①の地域に関する下の文を読み、①、②の問いに答えなさい。

この地域では、12月の平均降水量が200mmをこえる。これは、の季節風が海の上を通るときに湿気を含んで多くの降水をもたらすからで、特に山その降水量が多い。

- ① に入る風向を、漢字2字で書きなさい。
- ② 次のア～エの中で、その一部が①の地域に含まれるものを一つ選びなさい。
- ア 飛騨山脈    イ 赤石山脈
  - ウ 北見山脈    エ 紀伊山脈



- (2) 右のグラフIは、で示した東京都とX県における年齢別人口割合を表している。これを見て、次の①、②の問いに答えなさい。
- ① X県の県名を答えなさい。
- ② 東京都に隣接する県には、東京都と同様に、他県と比較して、この年齢層の割合が高い果はいくつかある。東京都の20～39歳の割合が高いのはなぜか。「この年齢層の人口が、J」という書き出しで説明しなさい。ただし、出生率、死亡率の変化の影響は考えなくてよい。



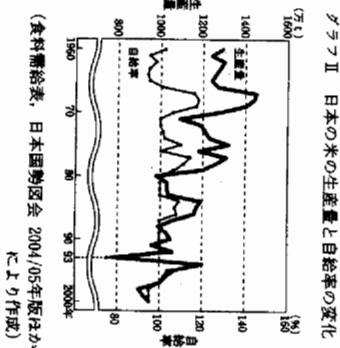
- (3) 下の地図は、せんい工業、食料品工業、化学工業、機械工業の都県別出荷額の全国に占める割合を、関東地方と中部地方について表したものである。化学工業を表すものを、ア～エの中から一つ選びなさい。



- (4) 右のグラフIIについて、次の①、②の問いに答えなさい。

- ① 1993年の米の生産量の減少は、ある自然災害がおもな原因であった。この災害によって、東北地方の太平洋側や北海道で、稲の開花の時期が遅れたり、穂が十分に実らなかつたりするなどの問題がおこった。おもに東北地方や北海道でおこるこの自然災害を何というか。漢字2字で書きなさい。
- ② 1960年代前半と1990年代後半を比較すると、米の生産量は減少したが自給率はほとんど変化していない。そのおもな理由を次の二つの語句を用いて書きなさい。

食生活    消費



グラフII 日本の米の生産量と自給率の変化 (食料需給表, 日本国勢協会 2004/05年版はかにより作成)

5 次のAとBの2枚のカードは、たろうさんが国際的に活躍した福島県出身の人物について調べた結果をまとめたもの一部である。(1)～(5)の問いに答えなさい。



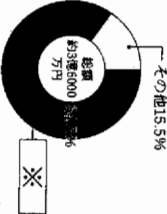
A  
右はしの少女の名前は「猪俣」といい、会津藩家老の娘として生まれました。岩倉使節団の派遣にもない、わが国初の女性留学生として、津田梅子らとアメリカに渡り、帰国後、のちに①日清戦争と日露戦争で司令官をつとめる男性と結婚しました。そして、当時既婚婦でさかんに行われた舞踏会などで活躍し、国際親善に貢献しました。また、女子教育にも力をつとくし、それは後の②女性の地位向上運動につながりました。



B  
彼の名前は野口英世といい、現在の猪苗代町の出身です。アメリカに渡り、おもに③細菌学の研究で1914～1920年の間に3回ノーベル賞の候補になりました。当時の彼の手紙に「今回の欧州大戦争の参加国出身である私が受賞することは絶望のようだ」という内容があり、受賞できなかった背景の一つには、④戦争の影響があると彼は考えていたようです。その後も、彼は南米やアフリカで研究を続け、その業績は広く世界に認められました。

(1) 一部について、岩倉使節団の派遣と、鹿鳴館で舞踏会をさかんに行なったことに共通する目的は何か。次のア～エの中から最も適当なものを一つ選びなさい。  
 ア 欧米列強の支持を得て、国際連合に加盟し、国際社会の一員となること。  
 イ 欧米列強の協力を得て、中国に二十一か条の要求を認めさせること。  
 ウ 欧米列強と協調することで軍備削減を行い、軍事費を削減させること。  
 エ 欧米列強の理解を得て、不平等条約の改正を求めること。

(2) 下線部①について、次のa, bの問いに答えなさい。  
 a 日清戦争に勝利した後、国内ではロシアに対する対抗心が高まった。その理由を次の二つの語句を用いて書きなさい。  
 遼東半島 三国干渉



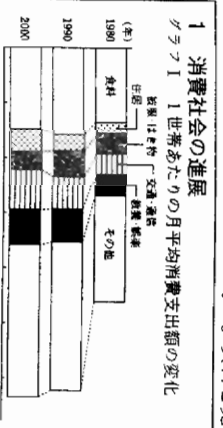
b 右のグラフは、日清戦争後、日本が獲得した賠償金の使いみちを表している。 ※ [ ] にあてはまるものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。  
 ア 教育基金 イ 皇室財産 ウ 軍事費 エ 災害準備基金

(3) 下線部②に関して、次の文は女性解放をめざして結成された青柳社の宣言文の一部である。この宣言文を記した人物名を書きなさい。  
 元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。

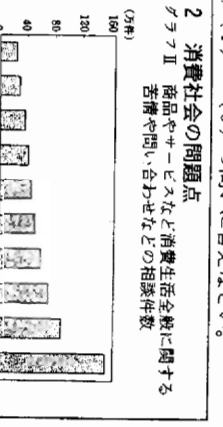
(4) 下線部③について、アメリカに渡る前の野口英世が指導を受けた人物で、彼「風」の治療法を発見し、日本の医学が世界に認められるきっかけをつとめた医学者は誰か。次のア～エの中から一つ選びなさい。  
 ア 森鷗外 イ 長岡半太郎 ウ 黒田清輝 エ 北里柴三郎

(5) 下線部④とあるが、戦争は人々に大きな影響を与える。次のア～エは、過去の戦争が日本の国民生活や経済に与えた影響について述べたものである。ア～エを年代の古い順に左から並べて書きなさい。  
 ア 戦争の犠牲の大きさに比べ日本の得た権益が少なかったとして、東京では民衆が日比谷焼き打ち事件をおこした。  
 イ 中東でおこった戦争による石油危機をきっかけに、わが国では省エネルギーが進んだ。  
 ウ 大戦景気とよばれる好景気となったが、物価上昇は労働者や零細農民を苦しめた。  
 エ 国家総動員法が公布され、産業・経済から国民生活のすべてにわたって戦争に動員された。

6 次の資料は、社会科の授業であきこさんの班が、「消費社会とわたしたちの生活」というテーマでまとめたもの一部である。資料を見て、(1)～(6)の問いに答えなさい。



1 消費社会の進展  
 グラフI 1世帯あたりの月平均消費支出額の変化  
 ① 食料の消費支出額は、増加している。  
 ② 娯楽・交際の消費支出額は、増加している。  
 ③ 交通・通信の消費支出額は、減少している。  
 ④ その他は、増加している。



2 消費社会の問題点  
 グラフII 商品やサービスの質など消費生活全般に関する苦情や問い合わせなどの相談件数  
 ① 商品やサービスの質に関する相談件数は、増加している。  
 ② 苦情や問い合わせに関する相談件数は、増加している。  
 ③ 消費者被害に関する相談件数は、増加している。  
 ④ クレジットカードの使用によって収入を考えると商品を買ってしまい、支払うことができなくなる例などもあります。

まとめ  
 ⑤ わたしたちのまわりには、さまざまな商品があふれ、便利で豊かな生活を送ることができるようになりましたが、いつまでも、さまざまな消費社会の問題も起こっています。また、収入は限られていて、ほしい商品を買って購入することはできません。  
 [消費社会の中でわたしたちは、 X ]

(1) 下線部①について、グラフIの三つの年を比較して読み取れることを、次のア～エの中から一つ選びなさい。  
 ア 「食料」の消費支出に占める割合は、増加している。  
 イ 「住居」の消費支出額は、増加している。  
 ウ 「被服・はき物」の消費支出に占める割合は、増加している。  
 エ 「交通・通信」の消費支出に占める割合と消費支出額は、ともに減少している。

(2) 下線部②について、市場において、商品の価格は一般に需要量と供給量の関係で変動することを確認するためには、何を調べるのが適当か。次のア～エの中から一つ選びなさい。  
 ア 郵便局でのキヤンペンの月別の入荷量と価格  
 イ 水道の月別の利用世帯数と価格  
 ウ 新聞の月別の発行部数と価格  
 エ 観光地での旅館やホテルの月別の利用者数と価格

(3) 下線部③について、訪問販売や電話勧誘などといった成立した契約であっても、一定の期間内であれば消費者が解約できる制度を何というか。書きなさい。

(4) 下線部④のような場合に、企業が過失がなくとも企業が救済を義務づけ、消費者の権利を守るために1995年に施行された法律は何か。次のア～エの中から一つ選びなさい。  
 ア 医薬品適法 イ 消費者保護基本法 ウ 製造物責任法 エ 独占禁止法

(5) 下線部⑤について説明した次の文の ※ [ ] にあてはまることばを漢字2字で書きなさい。  
 クレジットカードでの支払い、現金払いに対して ※ [ ] 払いという。

(6) 下線部⑥とあるが、消費社会の中でわたしたちは、商品を購入する際にどのようなことに心がけることが大切か。 ※ [ ] の中に次の二つの語句を用いて、「消費社会の中でわたしたちは、」の後に続けて書きなさい。  
 収入 選択